

資源ファンド（株式と通貨） トルコリラ・コース

償還 運用報告書（全体版）

第88期（決算日 2021年1月18日） 第90期（決算日 2021年3月17日） 第92期（償還）（償還日 2021年4月28日）
第89期（決算日 2021年2月17日） 第91期（決算日 2021年4月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「資源ファンド（株式と通貨）トルコリラ・コース」は、信託約款の規定に基づき、2021年4月28日に信託期間が終了し、償還いたしました。
ここに、設定以来の運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に對しまして、重ねてお礼申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2013年9月18日から2021年4月28日までです。
運用方針	主として、世界の資源関連企業が発行する株式を投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ナチュラル・リソース・ファンド トルコリラ・クラス」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

<942111>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近29期の運用実績

決算期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 率	資 産 額
		税 分	込 配	み 金					
	円 銭		円		%	%	%	百万円	
64期(2019年1月17日)	2,630		25		1.5	—	95.5	102	
65期(2019年2月18日)	2,879		25		10.4	—	95.8	107	
66期(2019年3月18日)	2,831		25		△ 0.8	—	95.8	102	
67期(2019年4月17日)	2,790		25		△ 0.6	—	95.5	96	
68期(2019年5月17日)	2,491		25		△ 9.8	—	95.7	86	
69期(2019年6月17日)	2,471		25		0.2	—	95.7	85	
70期(2019年7月17日)	2,641		25		7.9	—	93.6	93	
71期(2019年8月19日)	2,411		25		△ 7.8	—	95.4	84	
72期(2019年9月17日)	2,616		25		9.5	—	96.0	89	
73期(2019年10月17日)	2,360		25		△ 8.8	—	95.7	83	
74期(2019年11月18日)	2,542		25		8.8	—	95.7	86	
75期(2019年12月17日)	2,625		25		4.2	—	95.5	61	
76期(2020年1月17日)	2,654		25		2.1	—	95.2	58	
77期(2020年2月17日)	2,336		25		△11.0	—	95.4	58	
78期(2020年3月17日)	1,224		25		△46.5	—	94.9	27	
79期(2020年4月17日)	1,342		15		10.9	—	95.1	31	
80期(2020年5月18日)	1,476		15		11.1	—	95.4	37	
81期(2020年6月17日)	1,690		15		15.5	—	95.0	41	
82期(2020年7月17日)	1,718		15		2.5	—	95.7	41	
83期(2020年8月17日)	1,659		15		△ 2.6	—	95.4	40	
84期(2020年9月17日)	1,620		15		△ 1.4	—	95.5	38	
85期(2020年10月19日)	1,470		15		△ 8.3	—	95.5	38	
86期(2020年11月17日)	1,634		15		12.2	—	91.2	44	
87期(2020年12月17日)	1,738		15		7.3	—	95.5	46	
88期(2021年1月18日)	1,946		15		12.8	—	95.4	52	
89期(2021年2月17日)	2,179		15		12.7	—	95.5	51	
90期(2021年3月17日)	2,221		15		2.6	—	94.7	47	
91期(2021年4月19日)	2,101		15		△ 4.7	—	95.7	44	
(償還時)	(償還価額)								
92期(2021年4月28日)	2,038.40		—		△ 3.0	—	—	42	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

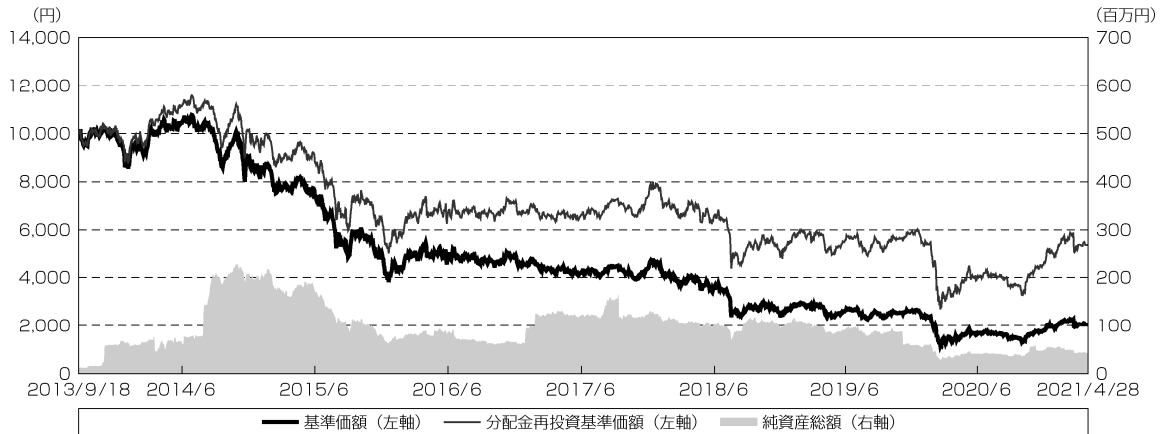
決算期	年月日	基準	価額		投資信託 組入比率	証券率
			騰落率	騰落率		
第88期	(期首) 2020年12月17日	円 銭	1,738	—	—	95.5
	12月末	1,823	4.9	—	95.6	
	(期末) 2021年1月18日	1,961	12.8	—	95.4	
第89期	(期首) 2021年1月18日	1,946	—	—	95.4	
	1月末	1,910	△ 1.8	—	95.3	
	(期末) 2021年2月17日	2,194	12.7	—	95.5	
第90期	(期首) 2021年2月17日	2,179	—	—	95.5	
	2月末	2,180	0.0	—	92.3	
	(期末) 2021年3月17日	2,236	2.6	—	94.7	
第91期	(期首) 2021年3月17日	2,221	—	—	94.7	
	3月末	1,973	△11.2	—	95.3	
	(期末) 2021年4月19日	2,116	△ 4.7	—	95.7	
第92期	(期首) 2021年4月19日	2,101	—	—	95.7	
	(償還時) 2021年4月28日	(償還価額) 2,038.40	△ 3.0	—	—	

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2013年9月18日～2021年4月28日)

設定以来の基準価額等の推移



設 定 日：10,000円
 第92期末（償還日）：2,038円40銭（既払分配金（税込み）：4,425円）
 騰 落 率：△46.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として世界の資源株に実質的に投資を行ない、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行なってまいりました。また、原則として、トルコリラ買い／米ドル売りの為替取引を行なうことで、実質的にトルコリラ建てで運用を行ないました。信託期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- 世界的な経済成長が続く産業活動が総じて高水準で推移したことにより、さまざまなコモディティ（商品）に対する需要が高まったこと。
- エネルギーおよび素材セクターの多くの企業がコスト管理や規律ある設備投資を推進したことで、財務状況など企業基盤が改善したこと。
- 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けた景気後退を回避するために、世界の主要中央銀行が前例のない金融緩和政策を採ったこと。
- 投資家のリスク回避姿勢の強まりなどを背景に金の価格が上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・世界の株式市場においてエネルギーセクターのパフォーマンスが不振となったこと。
- ・エネルギー企業の設備投資の削減によって、油田サービス・設備などのセクターの企業収益への影響が懸念されたこと。
- ・新型コロナウイルスのパンデミック（世界的な大流行）を受けて世界経済が深刻な不況に陥り、短期的にさまざまな天然資源の需要が減少したこと。
- ・トルコリラが対円で下落したこと。

投資環境

（株式市況）

期間中は、世界の主要株式市場が大幅に上昇し、また、世界経済のモメンタムも総じて良好で、市場は世界のマクロ経済環境の変化が株価に与える影響にも注目していました。一方、株式市場の上昇にもかかわらず、資源銘柄および資源関連銘柄の株価は相対的に出遅れ、株式市場を下回るパフォーマンスとなりました。

期間の初めは、景気後退から脱却するなか、市場のボラティリティ（価格変動性）が安定した一方、米国が原油掘削量増加に努めたことや、サウジアラビアなどの主要産油国が生産量を維持したことなどを背景とした需給不均衡などから、原油価格が大幅に下落しました。このような環境下、エネルギーセクターの株価のパフォーマンスは低迷しました。

2016年に入ると、世界の株式市場の上昇基調が続くなか、エネルギーおよび素材セクターが市場で最もパフォーマンスの高いセクターの一つとなるなど、資源銘柄および資源関連銘柄にとって状況が好転し始めました。多くの商品の価格は回復し、コモディティ生産企業の株価もそれに追随しました。この間、注目されたのは、石油輸出国機構（OPEC）が供給拡大から供給抑制へと戦略を変更したことでした。米国の大統領選挙で共和党候補が民主党候補を破って勝利したことは市場に一時的に動揺を与えましたが、共和党大統領の政策綱領などに基づく展望が見え始めると、市場は法人税や個人税の税率低下の可能性やインフラ投資などに期待を寄せることになりました。ただし、共和党大統領の就任後は、米国の政治的な不確実性と貿易政策の方向性の不透明感などが資源銘柄および資源関連銘柄の株価の動向を左右することになりました。

2010年代後半は、世界的な金融緩和などを受けて世界の主要株価指数が広範に上昇しました。ただし、経済の不確実性は依然として払拭されず、米国と中国との間の一連の貿易交渉も市場心理に影響を与えました。この期間は、市場のほとんどのセクターが上昇した一方で、エネルギー銘柄およびエネルギー関連銘柄は総じて苦戦し、株式市場のパフォーマンスに劣後しました。一方、電気自動車用の素材は、中長期的に革新的なイノベーションをもたらす可能性のある自動車用パワー・システムからの強い先取り需要がうかがえ、時の経過とともに有望度合いが増した投資テーマとなりました。

2020年第1四半期は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界の主要地域でのロックダウン（都市封鎖）が相つぎ、世界的な景気後退の可能性の高まりへの懸念を背景に、金融市場が大きく混乱しました。新型コロナウイルスのパンデミックは、供給の増加、世界的な貿易紛争、欧州の一部およびアジア経済の低迷とあいまって、すでに進行していた原材料価格の下落をさらに助長させました。需要の急減と世界的なリスク回避の影響を大きく受けて、当該四半期の混乱の中心となったのは原油でした。主要産油国であるサウジアラビアとロシアが各国による新型コロナウイルスの封じ込め対策を受けた需要減少を補うための供給削減に合意できなかったことも、原油価格にさらなる打撃をもたらしました。その後、複数の製薬企業が新型コロナウイルスのワクチンの臨床試験で良好な結果が得られたと発表したことで見通しが変わりました。このことに加えて、米国の選挙を受けた政治的な確実性の高まり、商品価格の上昇などから、多くの資源銘柄および資源関連銘柄の

株価が上昇し、すでに好調な業績をあげていた多角的金属・鉱業企業などの株価にもさらなる追い風となりました。

2021年に入ると、新型コロナウイルスのワクチン接種が進展し、多くの国や地域で新規感染者数に落ち着きが見られたことなどから、市場心理が改善しました。このような状況に加えて、米国連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和の継続と、さらなる景気刺激策への期待から株式市場や資源銘柄および資源関連銘柄の株価が上昇しました。また、需要回復期待を背景にコモディティは一部を除いて価格が堅調に推移し、関連銘柄も上昇しました。

（国内短期金利市況）

期間の初めから2015年12月にかけては、2014年10月に、日銀が「量的・質的金融緩和」の拡大を決定したことなどから、無担保コール翌日物金利は概ね0.1%を下回る水準で推移しました。その間、国庫短期証券（T B）3ヵ月物金利は2014年9月にはマイナス金利まで低下し、その後も概ね0.0%を挟んだ水準で推移しました。

2016年1月以降は、日銀によるマイナス金利政策の導入を受けてコール市場でもマイナス圏での取引が続き、無担保コール翌日物金利は-0.01%近辺で期間末を迎えました。T B 3ヵ月物金利は日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.11%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

信託期間中におけるトルコリラ（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ナチュラル・リソース・ファンド トルコリラ・クラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

当ファンドは2013年9月18日の設定以来、約7年7ヵ月にわたり運用してまいりました。このたび、約款の規定に基づき、信託終了日を2021年4月28日として償還いたしました。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（ナチュラル・リソース・ファンド トルコリラ・クラス）

期間中、ポートフォリオではエネルギーセクターへの積極投資を継続し、ポートフォリオの変更のほとんどは当該サブセクター内で行ないました。特に、石油・ガス探査・生産企業や石油・ガス機器・サービス企業については、株価が下落した機会をとらえて買い増しを行ない、想定する投資比率の維持に努めました。

一方、素材セクターについては、控えめの投資姿勢としましたが、2020年には株価の値上がりなどからポートフォリオ内の投資比率が高まりました。特に、金を中心とした鉱山企業は、各国政府の景気刺激策などに起因する一部のインフレ懸念や、鉱山事業における安価な燃料費などの恩恵を受けました。このような背景から、鉱山企業への投資は豊富なフリーキャッシュフローを生み出し、債務圧縮や配当などの株主への還元を通じて投資機会を追求することができました。

2020年には、競争力、収益性、資本利益率が非常に高い企業への投資を通じて中長期的な成長が期待できる産業用ガスセクターへの投資比率を高めました。これらの企業は、発展中の水素燃料分野においても有利な立場にあるとみています。従来の伝統的エネルギー企業は、今後も世界のエネルギー需要を満たす役割を果たし続けるとみられますが、一方、新興の代替エネルギー企業は、新しい市場を開拓することで中長期的に高い成長率を実現する可能性があると考えています。このことに関連して、ポートフォリオでは「エネルギーの移行」という投資テーマに対して、忍耐強く、かつ楽観的な投資態度で臨みました。多くの低炭素エネルギー銘柄は、新型コロナウイルスのパンデミックに関連した諸施策が環境保護活動に向けられる可能性があるとの期待を背景に2020年に良好なパフォーマンスを示したことで、株価が過大評価されている水準にまで上昇したと判断しました。2021年に入り、株式市場が軟調となった時期をとらえて、当該投資テーマに関する新たなポジションを構築しました。

また、原則として、トルコリラ買い／米ドル売りの為替取引を行なうことで、実質的にトルコリラ建てで運用を行ないました。

（マネー・オープン・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

分配金

信託期間中における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定し、1万口当たりの累計は4,425円（税込み）となりました。また、第88期～第91期における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第88期	第89期	第90期	第91期
	2020年12月18日～ 2021年1月18日	2021年1月19日～ 2021年2月17日	2021年2月18日～ 2021年3月17日	2021年3月18日～ 2021年4月19日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.765%	15 0.684%	15 0.671%	15 0.709%
当期の収益	15	15	15	15
当期の収益以外	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,013	2,018	2,023	2,027

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年12月18日～2021年4月28日)

項 目	第88期～第92期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 8	% 0.398	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(1)	(0.068)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(6)	(0.318)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.012)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.036	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(1)	(0.035)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	9	0.434	
作成期間の平均基準価額は、1,971円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

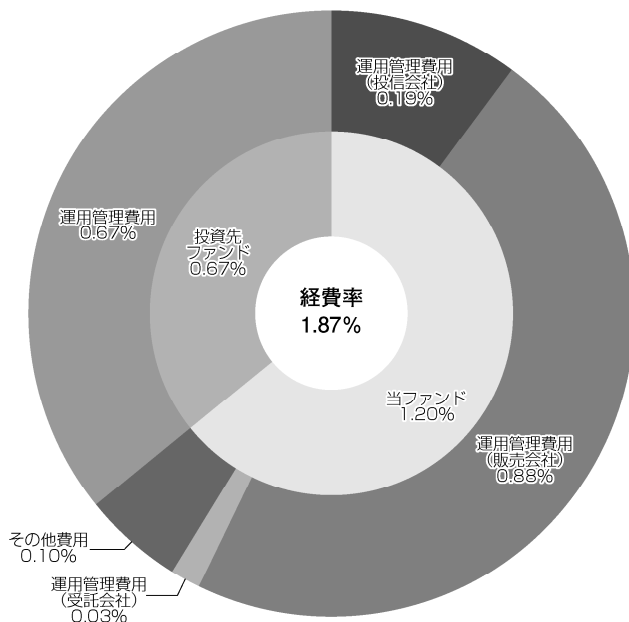
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.87%です。



(単位：%)

経費率 (①+②)	1.87
①当ファンドの費用の比率	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.67

(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年12月18日～2021年4月28日)

投資信託証券

銘柄		第88期～第92期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ナチュラル・リソース・ファンド トルコリラ・クラス	千口 23,764	千円 3,326	千口 393,875	千円 55,896

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第88期～第92期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・オープン・マザーファンド	千口 13	千円 13	千口 58	千円 59

○利害関係人との取引状況等

(2020年12月18日～2021年4月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年12月18日～2021年4月28日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年12月18日～2021年4月28日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2021年4月28日現在)

2021年4月28日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第87期末	
		口	数
ナチュラル・リソース・ファンド トルコリラ・クラス			千口 370,110
合	計		370,110

親投資信託残高

銘	柄	第87期末	
		口	数
マネー・オープン・マザーファンド			千口 45

○投資信託財産の構成

(2021年4月28日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 42,451	% 100.0
投資信託財産総額	42,451	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び償還（基準）価額の状況

項 目	第88期末	第89期末	第90期末	第91期末	償 還 時
	2021年1月18日現在	2021年2月17日現在	2021年3月17日現在	2021年4月19日現在	2021年4月28日現在
	円	円	円	円	円
(A) 資産	53,826,552	57,420,106	49,921,545	44,576,194	42,451,411
コール・ローン等	3,391,762	4,150,553	4,544,474	2,289,461	42,451,411
投資信託受益証券(評価額)	50,380,812	48,955,050	45,177,869	42,245,913	—
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	53,978	48,727	46,161	40,820	—
未収入金	—	4,265,776	153,041	—	—
(B) 負債	1,017,048	6,157,443	2,212,939	415,525	121,320
未払金	378,435	—	209,496	—	—
未払収益分配金	407,073	352,919	322,240	315,242	—
未払解約金	158,941	5,727,875	1,607,237	20,764	73,065
未払信託報酬	48,425	48,291	41,991	43,740	11,589
未払利息	1	—	—	—	6
その他未払費用	24,173	28,358	31,975	35,779	36,660
(C) 純資産総額(A-B)	52,809,504	51,262,663	47,708,606	44,160,669	42,330,091
元本	271,382,638	235,279,492	214,827,149	210,161,509	207,663,301
次期繰越損益金	△218,573,134	△184,016,829	△167,118,543	△166,000,840	—
償還差損金	—	—	—	—	△165,333,210
(D) 受益権総口数	271,382,638口	235,279,492口	214,827,149口	210,161,509口	207,663,301口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,946円	2,179円	2,221円	2,101円	—
1万口当たり償還価額(C/D)	—	—	—	—	2,038円40銭

(注) 当ファンドの第88期首元本額は266,764,323円、第88～92期中追加設定元本額は37,969,739円、第88～92期中一部解約元本額は97,070,761円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第88期0.1946円、第89期0.2179円、第90期0.2221円、第91期0.2101円、第92期0.203840円です。

(注) 2021年4月28日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は165,333,210円です。

○損益の状況

項 目	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期
	2020年12月18日～ 2021年1月18日	2021年1月19日～ 2021年2月17日	2021年2月18日～ 2021年3月17日	2021年3月18日～ 2021年4月19日	2021年4月20日～ 2021年4月28日
	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	554,872	484,655	439,290	437,442	△ 13
受取配当金	554,886	484,657	439,297	437,443	—
支払利息	△ 14	△ 2	△ 7	△ 1	△ 13
(B) 有価証券売買損益	5,442,394	5,343,164	822,136	△ 2,586,360	△ 1,292,727
売買益	5,481,173	5,881,336	936,188	131,340	6,404
売買損	△ 38,779	△ 538,172	△ 114,052	△ 2,717,700	△ 1,299,131
(C) 信託報酬等	△ 52,810	△ 52,660	△ 45,790	△ 47,701	△ 12,638
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,944,456	5,775,159	1,215,636	△ 2,196,619	△ 1,305,378
(E) 前期繰越損益金	△ 20,035,969	△ 12,014,662	△ 5,643,703	△ 4,566,358	△ 6,978,244
(F) 追加信託差損益金	△204,074,548	△177,424,407	△162,368,236	△158,922,621	△157,049,588
(配当等相当額)	(53,680,312)	(46,575,967)	(42,583,857)	(41,673,988)	(41,180,725)
(売買損益相当額)	(△257,754,860)	(△224,000,374)	(△204,952,093)	(△200,596,609)	(△198,230,313)
(G) 計(D+E+F)	△218,166,061	△183,663,910	△166,796,303	△165,685,598	—
(H) 収益分配金	△ 407,073	△ 352,919	△ 322,240	△ 315,242	—
次期繰越損益金(G+H)	△218,573,134	△184,016,829	△167,118,543	△166,000,840	—
償還差損金(D+E+F+H)	—	—	—	—	△165,333,210
追加信託差損益金	△204,074,548	△177,424,407	△162,368,236	△158,922,621	—
(配当等相当額)	(53,680,312)	(46,575,967)	(42,583,857)	(41,673,988)	(—)
(売買損益相当額)	(△257,754,860)	(△224,000,374)	(△204,952,093)	(△200,596,609)	(—)
分配準備積立金	952,998	917,082	886,208	926,390	—
繰越損益金	△ 15,451,584	△ 7,509,504	△ 5,636,515	△ 8,004,609	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2020年12月18日～2021年4月19日)は以下の通りです。

項 目	2020年12月18日～ 2021年1月18日	2021年1月19日～ 2021年2月17日	2021年2月18日～ 2021年3月17日	2021年3月18日～ 2021年4月19日
a. 配当等収益(経費控除後)	549,987円	480,274円	423,346円	389,741円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	53,680,312円	46,575,967円	42,583,857円	41,673,988円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	810,084円	789,727円	785,102円	851,891円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	55,040,383円	47,845,968円	43,792,305円	42,915,620円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,028円	2,033円	2,038円	2,042円
g. 分配金	407,073円	352,919円	322,240円	315,242円
h. 分配金(1万口当たり)	15円	15円	15円	15円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年9月18日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年4月28日		資産総額	42,451,411円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	121,320円
受益権口数	12,000,000口	207,663,301口	195,663,301口	純資産総額	42,330,091円
元本額	12,000,000円	207,663,301円	195,663,301円	受益権口数	207,663,301口
				1万円当たり償還金	2,038円40銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	15,315,019円	15,341,477円	10,017円	－円	－%
第2期	15,891,985	16,154,120	10,165	80	0.80
第3期	58,949,375	58,767,088	9,969	80	0.80
第4期	70,287,061	66,945,790	9,525	80	0.80
第5期	61,051,648	57,754,923	9,460	80	0.80
第6期	69,789,913	63,621,942	9,116	80	0.80
第7期	45,556,761	45,407,099	9,967	80	0.80
第8期	48,985,980	49,951,507	10,197	80	0.80
第9期	63,271,095	64,324,964	10,167	80	0.80
第10期	71,665,130	75,887,876	10,589	80	0.80
第11期	75,001,623	75,713,625	10,095	80	0.80
第12期	195,943,667	199,176,755	10,165	80	0.80
第13期	216,113,560	185,486,353	8,583	80	0.80
第14期	224,755,705	218,692,632	9,730	80	0.80
第15期	238,414,989	190,730,178	8,000	80	0.80
第16期	231,176,953	196,507,464	8,500	80	0.80
第17期	237,197,414	205,852,113	8,679	80	0.80
第18期	231,631,063	174,637,556	7,539	80	0.80
第19期	208,326,289	160,838,881	7,721	80	0.80
第20期	225,769,057	184,189,638	8,158	80	0.80
第21期	245,883,017	184,990,293	7,524	80	0.80
第22期	222,260,683	161,189,927	7,252	80	0.80
第23期	196,992,730	126,564,569	6,425	80	0.80
第24期	198,776,039	110,700,705	5,569	80	0.80
第25期	187,356,305	109,732,645	5,857	80	0.80
第26期	177,347,936	100,691,258	5,678	80	0.80
第27期	160,175,398	79,035,315	4,934	80	0.80
第28期	157,682,550	62,930,901	3,991	50	0.50
第29期	163,152,005	69,985,638	4,290	50	0.50
第30期	163,767,880	80,864,366	4,938	50	0.50

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第31期	163,440,453円	81,486,270円	4,986円	50円	0.50%
第32期	159,079,296	77,799,661	4,891	50	0.50
第33期	175,935,896	83,173,954	4,728	50	0.50
第34期	151,248,308	76,975,399	5,089	50	0.50
第35期	144,120,667	70,071,227	4,862	50	0.50
第36期	141,976,067	65,178,896	4,591	50	0.50
第37期	133,888,733	61,936,221	4,626	50	0.50
第38期	132,847,597	61,196,773	4,607	50	0.50
第39期	133,259,298	65,340,336	4,903	50	0.50
第40期	135,050,483	61,508,291	4,554	50	0.50
第41期	208,975,569	97,147,481	4,649	50	0.50
第42期	275,395,711	122,083,970	4,433	50	0.50
第43期	297,881,177	125,501,081	4,213	50	0.50
第44期	286,465,058	125,248,427	4,372	50	0.50
第45期	285,084,469	118,873,616	4,170	50	0.50
第46期	287,146,545	123,564,569	4,303	50	0.50
第47期	284,683,827	117,860,380	4,140	50	0.50
第48期	359,822,203	159,143,777	4,423	50	0.50
第49期	265,413,151	115,009,965	4,333	50	0.50
第50期	292,250,413	116,727,537	3,994	50	0.50
第51期	282,284,896	115,354,810	4,086	50	0.50
第52期	273,304,796	123,843,566	4,531	50	0.50
第53期	267,151,908	110,251,721	4,127	50	0.50
第54期	284,336,712	110,497,455	3,886	50	0.50
第55期	268,455,646	103,786,434	3,866	50	0.50
第56期	270,412,583	105,262,766	3,893	50	0.50
第57期	283,831,710	99,427,166	3,503	50	0.50
第58期	280,405,950	97,649,553	3,482	50	0.50
第59期	283,776,125	75,816,310	2,672	50	0.50
第60期	396,635,839	101,198,658	2,551	50	0.50
第61期	415,173,158	116,405,510	2,804	50	0.50
第62期	377,368,242	107,454,762	2,847	50	0.50
第63期	387,302,157	101,315,039	2,616	25	0.25
第64期	388,746,283	102,236,850	2,630	25	0.25
第65期	372,787,629	107,344,157	2,879	25	0.25
第66期	362,943,707	102,751,724	2,831	25	0.25
第67期	346,640,219	96,715,195	2,790	25	0.25
第68期	347,810,062	86,645,399	2,491	25	0.25
第69期	345,870,506	85,447,826	2,471	25	0.25

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第70期	354,606,176円	93,659,037円	2,641円	25円	0.25%
第71期	351,062,581	84,624,436	2,411	25	0.25
第72期	340,491,051	89,082,594	2,616	25	0.25
第73期	354,099,195	83,571,210	2,360	25	0.25
第74期	339,889,801	86,397,023	2,542	25	0.25
第75期	234,591,430	61,569,508	2,625	25	0.25
第76期	220,960,281	58,652,554	2,654	25	0.25
第77期	250,153,243	58,424,467	2,336	25	0.25
第78期	228,376,051	27,955,769	1,224	25	0.25
第79期	232,679,307	31,215,417	1,342	15	0.15
第80期	252,423,799	37,269,407	1,476	15	0.15
第81期	244,159,055	41,271,253	1,690	15	0.15
第82期	241,923,040	41,560,944	1,718	15	0.15
第83期	243,574,390	40,398,609	1,659	15	0.15
第84期	240,524,485	38,958,427	1,620	15	0.15
第85期	263,770,448	38,776,365	1,470	15	0.15
第86期	270,560,154	44,205,918	1,634	15	0.15
第87期	266,764,323	46,371,315	1,738	15	0.15
第88期	271,382,638	52,809,504	1,946	15	0.15
第89期	235,279,492	51,262,663	2,179	15	0.15
第90期	214,827,149	47,708,606	2,221	15	0.15
第91期	210,161,509	44,160,669	2,101	15	0.15

○分配金のお知らせ

	第88期	第89期	第90期	第91期
1 万口当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円	15円

○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金（税込み）	2,038円40銭
-----------------	-----------

○お知らせ

約款変更について

2020年12月18日から2021年4月28日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、一部解約の受付中止にかかる規定に関してスイッチング対象の証券投資信託を定めている約款付表から、買付停止となる以下の追加型証券投資信託を削除すべく、2021年3月18日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。

資源ファンド（株式と通貨）メキシコペソ・コース

資源ファンド（株式と通貨）トルコリラ・コース

資源ファンド（株式と通貨）米ドル・コース

資源ファンド（株式と通貨）円コース

資源ファンド（株式と通貨）ブラジルリアル・コース（資産成長型）

資源ファンド（株式と通貨）南アフリカランド・コース（資産成長型）

資源ファンド（株式と通貨）米ドル・コース（資産成長型）

（第37条、付表）